



今も残る 北区のむか〜し むかし

北区に残された伝承、伝説を「今も残る北区のむか〜しむかし」として紹介しています。興味をお持ちになったら、由来する場所を調べ、訪ねてみると新たな出会いがあるかもしれません。

箸立伝説(神明社)

大宮市教育委員会編「大宮をあるくⅠ〜東部編〜」(昭和63年)
41〜42ページ、「箸立伝説と土呂の神明社」から引用

見沼グリーンセンター北側のバラ園を見下ろす高台に神明社があります。かつては「土呂の大杉」と呼ばれていた高さ26m・幹の高さだけで15m・太さ7m・根まわりが8畳敷・樹上の枝は500畳を覆うといわれた御神木があり、(中略)天然記念物として県の指定を受けましたが、(中略)伐採され、今は若干残っている根元の部分によって往時の雄姿を偲ぶだけとなりました。この御神木について、天喜4年(1056)朝廷の命により奥州の豪族の反乱を鎮めるため出発した源頼義・義家父子が、ここで昼餉をとり箸に使った杉の枝を地面に突き刺したまま去り、後これが根付いて大杉となったということで「箸立の杉」とか「白旗の杉」との別名がありました。



伐採された土呂の大杉
写真提供: 神明社



かつての土呂の大杉
写真提供: さいたま市アーカイブズセンター



往時をよく知る地元の方によると、一説には樹齢800年とも言われる土呂の大杉は、枝が地面へ届くほどの樹勢があり、地元で自慢の大杉だったとのこと。立ち枯れしてしまったため、昭和45(1970)年に惜しまれつつ伐採されました。

今も現地に建つ石碑の脇には、切り株の一部が残されています。この切り株を目にすることで、かつて大杉がこの地で枝を伸ばしていた雄々しい姿を思い描いてみるのも一興です。

問合せ 北区コミュニティ課 ☎669・6020 FAX669・6161

「市報さいたま」北区版9月号に掲載した事業については、新型コロナウイルスの影響により、中止や内容を変更する場合があります。詳しくは、市ホームページをご覧ください。各事業の問合せ先へお尋ねください。

北区役所 〒331-8586 北区宮原町1-852-1 ☎653・1111(代表) FAX669・6160 編集: 北区コミュニティ課

※この電話は、さいたまコールセンターにつながります。

●人口/149,519人(男/74,410人 女/75,109人) ●世帯数/70,534世帯 ●面積/16.86km²(令和3年8月1日現在)